

学校評価(後期)アンケートへのご回答、ありがとうございました

先日お願いした学校評価アンケートの回収率は、96%でした。生徒アンケートの結果とともに、学校評議員会でも報告し、確認・検討をしていただきました。以下、アンケート結果をお知らせします。

今回の評価を受けて、改善を図り、次年度に再度アンケートを実施し、取組の成果を検証したいと計画しています。結果の見方は、以下の通りです。

○肯定的評価<4ともそう思う、3そう思う>の割合(%)

- ・↑は、肯定的評価が前期よりも上昇しているもの(同一の集団で比較)
- ・↓は、肯定的評価が前期よりも下降しているもの(同一の集団で比較)
- ・=は、肯定的評価が前期とほぼ同様のもの(同一の集団で比較)
- ・太字は、肯定的評価が低いもの



項目	生徒			保護者			職員
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	職員
1 相談のしやすさ	80 =	81 ↓	87 ↑	85 =	95 ↑	94 ↑	100 =
2 情報提供	95 ↑	94 ↓	93 =	96 ↑	97 ↑	99 ↑	95 =
3 生徒と先生の人間関係	90 ↓	95 =	90 ↓	94 ↑	98 ↑	96 ↑	100 =
4 学校生活の楽しさ	93 ↑	84 ↓	97 =	92 =	88 ↑	97 ↑	100 =
5 いじめ・暴力がない学校生活	95 ↑	90 ↑	100 ↑	94 ↑	84 ↑	94 ↑	84 =
6 学校での友人関係	95 =	95 ↑	97 ↑	90 ↓	86 ↑	97 ↓	89 =
7 学校行事や部活動への参加意欲	92 ↓	86 ↓	96 ↑	96 ↑	90 ↑	91 ↓	100 =
8 授業のわかりやすさ	78 ↑	75 ↓	78 ↓	57 ↓	70 ↑	67 ↑	100 =
9 家庭学習の習慣	73 ↑	67 ↑	72 ↑	60 ↓	50 ↓	61 ↑	26 =
10 学力は向上しているか	50 ↓	57 ↓	75 ↑	31 ↓	52 ↑	61 ↑	26 =
11 参観やPTA行事等への参加	—	—	—	98 =	97 =	96 =	100 =

1. 相談のしやすさ

- ・3年生の生徒は進路の相談等、担任との相談活動が密になりました。また、大多数の保護者の方が「相談しやすい」と評価してくださっていることは大変ありがたいことと受け止めています。微々たる変化とはいえ生徒の数値が下がった部分については、次年度の学校生活全般を通して向上に努めます。

2. 情報提供

- ・ほとんどの生徒・保護者が、「情報を得られている」と考えています。2学年の生徒評価も僅かの下降に過ぎません。次年度は、必要な情報を精選することも含め、引き続き情報提供に努めます。

3. 生徒と先生の人間関係

- ・全体的に良好な結果を示していますが、理想は肯定的評価100%になることです。保護者は、生徒と教師の人間関係を「良い」と高く評価してくれていますが、生徒の数値は横ばい、あるいは若干の下降を見せています。次年度も、学級や部活動、学校・学年の行事等を充実させると共に、継続して生徒理解に努めていきます。

4. 学校生活の楽しさ

- ・比較的良好な結果ですが、2年生に若干の下降が見られます。このアンケートは「3年生を送る会」以前にとられましたので、2年生は体育祭後に比べて充実感が薄かったのかも、と予測しています。今ならこの数値は上がることと思われれます。次年度、新3年生のクラス替えはしませんので、現在の学級を充実させていきます。

5. いじめ・暴力のない学校生活

- ・30年度当初は2学級制に移行して、生徒たち自身の戸惑いもあったようです。人間関係の構築の難しさから、「悪口」や「からかい」「カッとなって相手を叩く・蹴る」「SNSで攻撃する」といった行為があったのは事実です。しかし、6月頃からこうした問題行動は少なくなり、2学期後半より安定した生活となっています。（個別のケースには、保護者の方々にもきちんと報告し、対応させていただきました。）
- ・現在は、生徒達も安定感をもって生活していることが、アンケート数値の向上という結果から見えています。今後も、「いじめ・暴力の根絶」に向けて取り組んでいきます。

6. 学校での友人関係

- ・現状ではおおむね良好という数値が出ていますが、継続してより良い仲間作りに努めていきます。次年度、新入生を迎え、新たな人間関係の構築が課題となりますが、しっかりと見ていきます。

7. 学校行事や部活動への参加意欲

- ・毎回のことながら、文化祭・合唱コンクール、3年生を送る会等の学校行事においては、生徒の意欲・取組に目を見張るものがありました。その土台には、職員の計画的な指導があり、職員は生徒の良さを伸ばし、生徒のやる気を引き出す指導に努めています。
- ・本年度よりスポーツ庁の「部活動の取組」指針が出され、市教委からも「閉庁日は生徒の活動を原則休みにする」等の方針が出されています。これにより、前年度よりも部活動の休業日が増え、また、後期は日没の関係から活動時間が少なくなっていますので、一部の生徒は若干の物足りなさを感じているようです。4月から、活動時間も戻りますが、休業日は従来よりも多くなりますので、「質的な充実」を考えていきたいと考えます。

8. 授業のわかりやすさ

- ・職員が「わかりやすい授業」を心がけ実践することが必要です。そして、同時に「聴く姿勢」をきちんと育てることも大切と考えます。頑張るのみです！

9. 家庭学習への取組

- ・受験を契機に、3年生は家庭学習の時間を大切に、質・量ともに充実を果たした生徒がたくさん表れました。彼らは着実に学力を伸ばしています。
- ・現状では、スマホなどのメディア視聴に2時間以上費やす生徒がいる、その結果、家庭学習の時間がたいへん少なくなっている、ということが大きな問題です。1日24時間しかないのは誰もが同じ、時間の使い方について、様々な方向から生徒にアプローチしていきたいです。

10. 学力向上

- ・上記8・9と同様です。職員が学習指導について工夫を重ねるとともに、生徒も課題に対して真剣に取り組む、また、課題意識を高めて取り組む、教師・生徒双方で、その繰り返しを頑張っていきたいと思えます。1年生は、英単語コンクールで「やればできる」という体験をしました。この体験を全教科に広げてほしいです。
- ・技術科で「パソコンでプレゼンテーションを作成して、仲間の前で発表する」という学習をしましたが、生徒の興味関心（課題の立て方）や操作技術、制作のセンスなど、大人の世代には思いもつかない斬新なものが多々ありました。こうした力も「学力」としてもっと自信をもって良いと考えます。
- ・何点だった・何番だった、ではなく、「以前の自分より力を付けた！」と自己評価できるようにしたいです。

11. 参観やPTA行事への参加

- ・いつも御協力いただき、ありがとうございます。参観を通して生徒の良さを発見し、認め、励ましていただいていることに感謝しています。今後とも、お忙しい中ですが、学校行事や授業参観への御参加をお願いします。

※その他 コメントについて

- ・いくつかのコメントを寄せていただき、ありがとうございました。以下、ここで回答できるものだけ記します。また、見送り時の職員の様子についての御意見などは、会議等で共有していきます。
- ①「学校だよりの生徒氏名がイニシャルだけなのはなぜですか？ 入賞したお子さんに声かけができません。」
 - ・学級・学年だよりは対象の御家庭だけの配布ですが、学校だよりはホームページにもアップし、校外にも広くお伝えしています。従って、個人情報保護の観点から個人の氏名を公開していません。ブログ等に生徒の写真アップするときには、顔と氏名が一致しないようにしています。一般の新聞等に氏名が載るのは新聞社が本人に掲載許可を得ている場合のみですので、御理解ください。
- ②「給食のご飯がべちゃべちゃだと聞きました。」
 - ・2学期に一度だけ、入荷先を替えた時に水加減が異なり柔らかすぎたことがありました。現在では、改善されています。大量に炊くので御家庭のようにはいかないかもしれませんが、調理場も工夫して誠実に調理していますのでご安心ください。ちなみに、給食は毎日開始30分前に管理職が検食し安全を確かめています。